

平成 27 年春・開校

とやま農業未来カレッジ

富山県農業の未来を担う青年のために。



「とやま農業未来カレッジ」の創設にあたって

富山県知事 石井隆一



農業の担い手の高齢化が進む中で、若者の就農意識を高め、本県農業の未来を担う農業者を育成することが大変重要になっています。また、本県の新規就農者数は、ここ数年大きく伸び、平成25年度は90人となっていますが、その8割が農業の基礎的な教育を受けておらず、昨年実施したニーズ調査では、新規就農者や農業経営者等の約8割が就農前に基礎的知識や技術を学ぶことを希望しています。

このため、県では、本県で就農を目指す皆さんが、富山県の気候、地質などの営農条件に即した農業の基礎を1年で修得できる「とやま農業未来カレッジ」を新設し、来年4月から第1期入学生を受け入れることとしています。

このカレッジでは、県内の主な農作物の栽培等の基本を学ぶ座学や先進農家のほ場等で実践力を高める実習、資格取得が可能な機械演習を組み合わせた体系的なカリキュラムを受講できます。また、より広い視野で経営感覚等が養える日本農業経営大学校等の連携講座や全国レベルの著名な講師を招いた公開講座等に参加できるほか、卒後の進路指導や就農に向けた準備、さらなる高度な専門研修等のサポートが受けられます。

さらに、すでに就農している若手農業者の皆さんを対象に農閑期を利用した短期研修も開催します。IターンやUターンなど農業経験のない方々も含め、意欲ある若者にこうした充実した研修を大いに活用していただき、本県の農業・農村を元気にする多くの人材が育つことを期待しております。

とやま農業未来カレッジ設置に至る経緯・計画

■平成25年

- 4月1日 富山県農業後継者育成確保対策検討委員会の設置
- 4月25日 第1回検討委員会(農業後継者をめぐる情勢・課題等に関し意見交換)
- 5月～6月 農業研修に関するアンケート調査実施
- 8月2日 第2回検討委員会(新規就農者に対する研修体制のあり方の協議)
- 10月15日 第3回検討委員会(研修体制のあり方の中間とりまとめ協議)
- 12月19日 第4回検討委員会(最終報告の協議)
- 12月20日 「農業後継者の研修体制のあり方に関する報告書」を検討委員会から富山県知事に手交
(「1年制の新たな研修機関の設置」等について提言)

■平成26年

- 4月1日 「とやま農業未来カレッジ」準備室開設
- 7月 「とやま農業未来カレッジ」プレ講演会開催予定(記念講演会)

■平成27年

- 1月 「とやま農業未来カレッジ」一部開校予定(本校舎完成、記念講演会・短期研修実施)
- 4月 「とやま農業未来カレッジ」開校予定(通年研修の開始、一期生入学式)



■設置目的

富山県の農業の担い手を育成するため、就農希望者が本県の営農条件に即した農業の基礎的知識や実践的技術を体系的に修得できる研修を実施します。

■設置主体 富山県

■体制

名誉校長 富山県知事
校長 富山県農林水産部長

●運営主体 公益社団法人 富山県農林水産公社

副校長 1名

専任指導員 4名

※富山県の委託を受け、富山県農林水産公社が運営。



■研修概要

●通年研修（1年制）

基本を重視した座学講義

栽培の基礎知識や生産・流通・販売にいたるまでの農業に関する幅広い基本的知識の習得。

プロから学ぶ作物実習

県の主要農作物を栽培する先進農家や研究機関のは場で、経営の実践や栽培技術の実習。

資格取得も可能な機械演習

農耕用大型特殊自動車免許等の農作業に必要な資格取得やトラクタ等の機械の操作・点検整備マニュアルの実施。

●進路指導・卒後支援

就農相談、進路指導を行うほか、卒業後の就農準備や高度な専門研修のサポートの実施。

●公開講座

若手農業者等を対象にした公開講座を毎年開催し、資質向上を図るもの。

研修内容

■通年研修

●通学カリキュラム：年間 1,200 時間程度

座学講義、作物実習、機械演習等を組み合わせた、1日4時限×90分の研修を基本とします。

◆座学講義…21 科目

基礎知識

農業一般知識
水稲・大麦・大豆の生理生態
園芸作物の生理生態
雑草・除草剤基礎
病害虫・農薬基礎
土壌・肥料基礎
畜産概論・飼料作物基礎
農業気象

栽培技術

水稲栽培技術
大豆・大麦栽培技術
野菜栽培技術
果樹栽培技術
花き栽培技術
環境保全型農業

関連知識

農業情報活用基礎
農産物の流通販売基礎
農業経営基礎
農政時事
農業機械概論
6次産業化基礎
農業生産工程管理

◆作物実習…13 作物・9 農家等

農作業実践基礎実習：本校舎近隣の先進農家のほ場で実施

水稲・大麦・大豆	4～12月
----------	-------

サテライトほ場巡回実習：県内の先進農家や研究機関のほ場で実施

露地野菜	白ネギ	4～12月
	サトイモ	6～11月
	ダイコン	8～12月
	タマネギ	8～12月
施設野菜	トマト等	4～7月
	ハウレンソウ	8～12月
果樹	モモ、ナシ、リンゴ等	通年
花き	チューリップ等	通年



◆機械演習

機械操作演習

機械点検・整備講習

各種資格取得

必須 農耕用大型特殊自動車免許
刈払機安全操作講習
富山県農業機械士

任意 農耕用けん引自動車免許
毒物劇物取扱者
危険物取扱者
フォークリフト運転技能講習



●校外カリキュラム：各1週間程度

通学カリキュラムに加え、集中的な講義・実習の実施。

夏期合宿	1回	ICTの活用や流通販売等を集中的に学習
農家派遣実習	2回	先進農家で集中的に農作業を体験実習(1週間連続)
県外連携講座	1回	より広い視野で経営感覚を養う日本農業経営大学校等講座に参加

●講師

カレッジ専任指導員や、富山県の研究員・普及指導員、農業高校教員等のほか、外部の専門講師など、充実した講師陣が指導。※先進農家、大学関係者、農機具・ICT等の専門家等

■進路指導・卒後支援

●就農相談・進路指導

青年農業者等育成センター等と連携して、就農に向けた相談や就農に関する各種情報の提供を行うほか、就農計画の作成など卒業後の進路について個別の指導。

●就農準備等のサポート

農業法人等への就職支援

研修生が円滑に就農できるよう、農業関係団体等の協力も得ながら就職先の紹介やマッチングなどの実施。

自営就農を目指す研修生への支援

就農計画に基づく機械・施設の整備や制度資金の活用など、県農林振興センターや県農林水産公社、市町村と連携して支援。

専門的知識、技術の習得を目指す研修生への支援

卒業後もさらなる研修を希望する研修生に、日本農業経営大学校(一線級の経営力)や県農林水産総合技術センター、中央農業高校専攻科、先進農家等の連携先での研修(最新の栽培技術、新品種の栽培特性等)など、目的に応じた研修先の斡旋。

■公開講座

●著名講師による公開講座

より広い視野で経営感覚を養うため、県内外の著名な講師による公開講座の開催。

○夏期合宿、短期研修に合わせて、年2回程度開催

●既就農者向けの短期研修

学習意欲の高い若手農業者等の資質向上を図るため、1～2月(農閑期)に短期研修の実施。

○1日2時限(1時限90分)、週2～3日、計15日(座学主体)、定員20名程度

スケジュール

●年間の主な行事

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式	通学カリキュラム：座学講義、作物実習、機械操作演習								卒業式	就農準備サポート	
	就農相談・進路指導									短期研修	
		農家派遣実習	公開講座	夏期合宿講座	県外連携講座		農家派遣実習		公開講座		

公開講座 は、若手就農者や一般の方など、どなたでも参加していただけます。

●通年研修 1 週間のイメージ

	月	火	水	木	金
1 限	HR				作物実習
2 限	作物実習	座学講義	作物実習	座学講義	機械演習
3 限					
4 限					

就学時間／ 9：00～16：10

時間割／ 1日4時限、週5日間



通年研修 募集概要 ※短期研修（既就農者対象）は別途募集します。

募集予定：平成 26 年 7 月～ 10 月 定員 15 名（最大 20 名程度）

応募資格：富山県での就農を希望し、1 年間通学が可能であり、卒業時点で 45 歳未満の者

受講料：年額 118,800 円（予定） ※他に教科書代、実習教材費、被服費等が必要

選考予定：平成 26 年 11 月 作文及び面接

結果発表：平成 26 年 12 月（予定）

●青年就農給付金（準備型）

国制度の青年就農給付金（準備型）の対象となるカリキュラムを備えており、下記の要件を満たせば、年間 150 万円の受給も可能です。なお、カレッジにおいて申請等の手続を支援します。

※就農予定時の年齢が、原則 45 歳未満であることなどが要件になります。

※研修終了後 1 年以内に就農しなかったときなど、給付金の返還が必要になる場合があります。

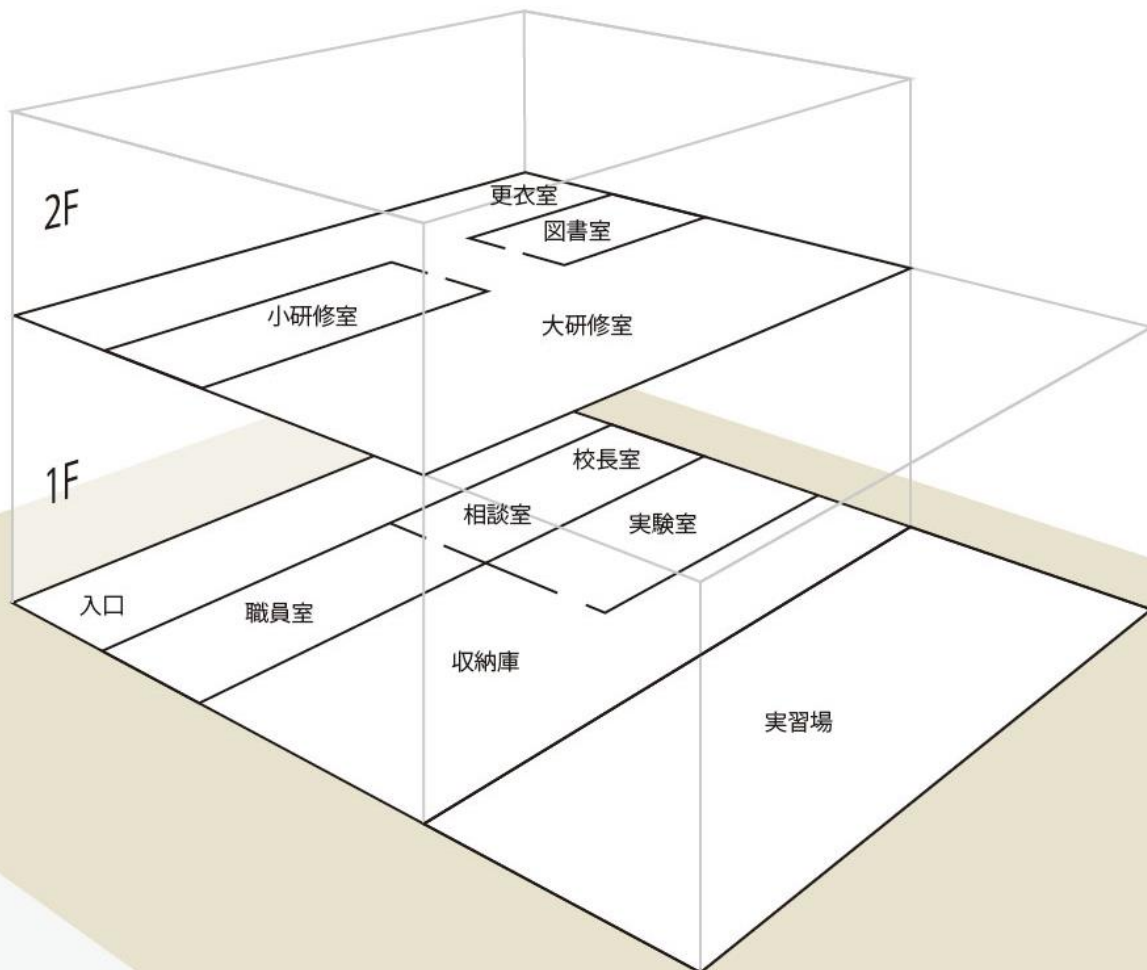
施設案内

所在地：富山市吉岡 108 番地

本校舎：867 m²（研修室、職員室、休憩室、実験室、作業場など）

駐車場：34 台

とやま農業未来カレッジ（配置図）



近隣の農業施設

富山県農林水産総合技術センター（企画管理部、農業研究所、食品研究所）

富山県農業協同組合中央会 農業総合研修所

JA 全農とやま（野菜集出荷施設等）、JA 富山市（物流センター等）



アクセス

富山地方鉄道バス

40 系統「若竹町経由笹津」方面	31 系統「猪谷・笹津」方面
41 系統「辰尾団地」方面	32 系統「笹津春日温泉」方面
【悪王寺】バス停下車 徒歩 6 分	38 系統「坂本二区」方面
	39 系統「新保企業団地」方面
	【下熊野】バス停下車 徒歩 18 分

お問い合わせ：公益社団法人 富山県農林水産公社

とやま農業未来カレッジ準備室

〒939-8153 富山県富山市吉岡 108 番地 TEL：076-461-3180 FAX：076-461-3185

E-mail：nougyou-college@taff.or.jp

URL：http://www.taff.or.jp/nou/nougyou-top.html